

『*medicina*』 第51巻 総目次

2014年 第1号～第13号

(数字は頁数, ()は号数を示す.)
(11号(増刊号)は11頁以降に掲載.)

【特集】

■ 消化器薬—新時代の治療指針

〈座談会〉

保険収載の変更により, 日常診療はどう変わるのか?

—機能性ディスペプシア, 胃炎の除菌を中心に

……………永田 博司・大畑 充・
洲崎 文男・鈴木 秀和 10(1)

〈消化管疾患〉

胃食道逆流症

……………藤原 靖弘 22(1)

機能性ディスペプシア

……………永原 章仁・北條麻理子・渡辺 純夫 26(1)

過敏性腸症候群

……………大和 滋 30(1)

消化性潰瘍, *Helicobacter pylori* 感染胃炎

……………井上 和彦 34(1)

NSAIDs 潰瘍

……………蔵原 晃一・川崎 啓祐・阿部 洋文 40(1)

潰瘍性大腸炎

……………仲瀬 裕志・本澤 有介・吉野 琢哉 44(1)

Crohn 病

……………小林 清典・横山 薫・小泉和二郎 50(1)

感染性腸炎・偽膜性腸炎・大腸憩室炎

……………水城 啓 54(1)

寄生虫による消化器疾患……………濱田 篤郎 60(1)

〈肝胆膵疾患〉

B 型肝炎……………黒崎 雅之 64(1)

C 型肝炎

……………朝比奈靖浩・中川 美奈・渡辺 守 70(1)

自己免疫性肝胆疾患

……………高野 啓子・佐伯 千里・銭谷 幹男 76(1)

門脈圧亢進症……………赤星朋比古・橋爪 誠 82(1)

NAFLD・NASH……………小田 耕平・宇都 浩文 87(1)

アルコール性肝障害・アルコール依存症

……………堀江 義則 92(1)

胆石症, 胆道感染症, 肝膿瘍……………窪田 賢輔 96(1)

膵炎……………西野 博一 100(1)

〈悪性腫瘍〉

胃がん……………谷山 智子・朴 成和 106(1)

大腸がん

……………浜野由花子・森脇 俊和・兵頭一之介 110(1)

肝臓がん

……………田中 克明・近藤 正晃・沼田 和司 116(1)

〈日常診療のこつ〉

鎮痛薬の使い分け……………木下 真弓 120(1)

消化器症状に対する漢方薬の使い分け

……………中田 樹海・鈴木 剛 124(1)

消化器症状に対する向精神薬の使い分け

……………富田 真幸 128(1)

妊娠時における消化器薬の使い方

……………稲垣 尚子・国崎 玲子・前田 慎 132(1)

〈トピックス〉

大腸内視鏡前処置薬の進化……………上野 文昭 136(1)

32 年ぶりに開発された新しい下剤 選択的クロライド

チャンネル賦活薬(ルビプロストン)

……………本郷 道夫・松尾 英史 140(1)

■ 診て考えて実践する一水・電解質管理と輸液

〈座談会〉

水・電解質異常の unmet needs を考える

……………赤井 靖宏・宮崎 正信・

安田 隆・長浜 正彦 198(2)

〈Editorial〉

本特集を読む前に……………赤井 靖宏 210(2)

〈水・電解質管理のために必要な生理学・病態生理学〉

Na の生理学・病態生理学

……………望月 晴子・宮崎 康 212(2)

K の生理学・病態生理学……………長浜 正彦 218(2)

Ca, P, Mg の生理学・病態生理学

……………花田 繁 223(2)

輸液療法選択に必要な生理学

……………佐々木 彰・安田 隆 227(2)

〈水・電解質異常の診断〉

病歴から考える水・電解質異常

……………藤井 直彦 235(2)

身体所見から考える水・電解質異常

……………須藤 博 240(2)

尿検査から考える水・電解質異常

……………赤井 靖宏 244(2)

〈水・電解質異常の治療〉

低 Na 血症と高 Na 血症……………	田川 美穂	248 (2)
高 K 血症と低 K 血症……………	鈴木 利彦	255 (2)
Ca, P, Mg 異常……………	原田 幸児	262 (2)
〈臨床現場での水・電解質異常の診断と管理のポイント〉 プライマリケアでの水・電解質管理 ……………	宮崎 正信	268 (2)
救急外来での水・電解質管理……………	石丸 裕康	272 (2)
入院患者の水・電解質異常 ……………	森本 勝彦・鮫島 謙一	276 (2)
ICU での水・電解質管理 ……………	伊藤 慎介・鈴木 利彦・藤谷 茂樹	281 (2)
在宅患者の水・電解質管理—基本はバイタルサイン と身体診察!……………	横井 徹	286 (2)
〈症例から水・電解質異常を考える〉 腎疾患患者の水・電解質管理……………	片岡 仁美	292 (2)
精神疾患患者の水・電解質管理 ……………	梅津 道夫	296 (2)
循環器疾患患者の水・電解質管理 ……………	小松 康宏	299 (2)
消化管疾患・経口摂取不能患者の水・電解質管理 ……………	大村 健二	306 (2)
酸塩基平衡異常患者の水・電解質管理 ……………	森 克仁	311 (2)
肝疾患患者の水・電解質管理 ……………	瀬古 裕也・角田 圭雄・伊藤 義人	316 (2)
〈水・電解質異常の診断・管理に難渋した症例〉 シスプラチン投与後に低 Na 血症を呈した食道がん患 者の一例 ……………	松田 潤・猪阪 善隆・山内 淳	321 (2)
低 P 血症を呈したレジオネラ肺炎の一症例 ……………	渡邊 周平・河野 圭志・藤井 秀毅	326 (2)
アルコール多飲者・依存者の水・電解質異常 ……………	杉本 俊郎	330 (2)

■ もう見逃さない! 迷わない! —非血液専門医のための血液診療

〈座談会〉

非血液専門医が血液診療にどう関わればよいか

……………岡田 定・東 光久・臼杵 憲祐 396 (3)

〈この血液疾患を見逃してはいけない—専門医への紹介のタイミング〉

鉄欠乏性貧血

……………土岐 康通・山本 昌代・生田 克哉 406 (3)

二次性貧血・出血性貧血・骨髓異形成症候群(MDS)

……………川端 浩 410 (3)

巨赤芽球性貧血・溶血性貧血

……………山本 譲司・張替 秀郎 414 (3)

多発性骨髓腫……………矢野 寛樹・飯田 真介 418 (3)

〈この血算の異常を見逃してはいけない—専門医への紹介のタイミング〉

赤血球増加……………小松 則夫 424 (3)

白血球増加

……………森田 泰慶・田中 宏和・松村 到 430 (3)

白血球分画異常—異型リンパ球, 好酸球増加, 白赤芽
球症……………樋口 敬和 435 (3)

白血球減少……………南谷 泰仁 440 (3)

血小板増加……………檀 和夫 444 (3)

血小板減少……………富山 佳昭 448 (3)

汎血球減少……………末盛晋一郎・通山 薫 452 (3)

〈この血液病態を見逃してはいけない—専門医への紹介のタイミング〉

出血傾向……………窓岩 清治 456 (3)

血栓傾向……………横山 健次 462 (3)

リンパ節腫大……………伊豆津宏二 466 (3)

不明熱……………東 光久 470 (3)

〈この血液疾患を誤診してはいけない〉

貧血の誤診……………臼杵 憲祐 476 (3)

白血病の誤診……………石川 裕一・清井 仁 480 (3)

血小板減少の誤診……………大森 司 484 (3)

多発性骨髓腫の誤診……………矢野 寛樹 488 (3)

〈非血液専門医による血液診療〉

鉄欠乏性貧血・巨赤芽球性貧血の治療

……………横山 泰久 492 (3)

化学療法終了後の血液疾患患者のフォローアップ

……………森 慎一郎 496 (3)

血液疾患患者の風邪診療……………宮崎 仁 500 (3)

血液疾患患者に薬剤を使うとき

……………竹田 勇輔・中世古知昭 505 (3)

終末期血液疾患患者の緩和医療

……………柴田 隆夫 510 (3)

血液疾患の超高齢患者の緩和医療

……………宮腰重三郎 514 (3)

■ 虚血性心疾患 up to date—内科医によるトータル マネジメント

〈座談会〉

虚血性心疾患診療の最近の動向

……………今井 靖・丹沢 俊弘・

安東 治郎・杉下 靖之 574 (4)

〈疫学・病態〉

虚血性心疾患の日本人における動向・予後

……………福原 正代・清原 裕 586 (4)

冠動脈硬化・急性冠症候群—急性血栓イベントを最新

分子イメージングで解く……………西村 智 590 (4)

冠動脈病変およびステント治療後の病理像—冠動脈の

実像を理解する……………井上 勝美 594 (4)

〈問診・診察・診断〉

問診・身体診察のコツ

……………桑原 政成・三谷 治夫 600 (4)

心電図—読み落としをなくす工夫

心エコーを診断・治療に活かす	假屋 太郎	604(4)
診断マーカーと測定しておくべき血液検査	中尾 倫子	610(4)
核医学検査—虚血・心筋をいかにとらえるか	相澤 健一	616(4)
冠動脈CT・MRIの最新事情	真鍋 治・益田 淳朗・玉木 長良	622(4)
冠動脈造影・イメージング—カテーテル検査でどこまでわかるか	下浜 孝郎・阿古 潤哉	632(4)
大血管・脳血管・末梢血管疾患の診断・スクリーニング	原田光一郎	638(4)
〈急性冠症候群の診断・治療・管理〉		
急性冠症候群の初療	碓井 伸一	642(4)
急性冠症候群に対するPCI	池本 智一	648(4)
急性冠症候群のCCU管理	天木 幹博	654(4)
急性冠症候群における地域ネットワーク(1) —東京都CCUネットワーク	桃原 哲也・高山 守正・長尾 建	660(4)
急性冠症候群における地域ネットワーク(2) —熊本県における地域医療支援の取り組み	宮本 信三・中尾 浩一	663(4)
〈冠動脈疾患における多面的内科マネジメント〉		
脂質管理・血糖管理—どこまで下げるか、いかに下げるか	矢作 直也	666(4)
抗血小板薬の使い方—何をいつまで飲むのか、休薬・中止は可能か	上妻 謙	676(4)
レニン-アンギオテンシン系阻害薬、 β 遮断薬の使い方	市堀 泰裕・坂田 泰史	680(4)
硝酸薬・ニコランジルの慢性期における意義	興梠 貴英	684(4)
心臓リハビリテーション・生活指導の効用—大きな予後改善効果	長山 雅俊	688(4)
腎不全・血液透析患者の冠動脈疾患診療—腎臓内科医との連携	石塚 理人・池ノ内 浩・石橋 由孝	694(4)
〈血行再建—PCI, 冠動脈バイパス〉		
冠動脈病変の重症度・リスク評価とそれに基づく治療選択	田中 悌史	698(4)
待機的血行再建におけるPCI	中島 祥文・森野 禎浩	704(4)
冠動脈バイパス術—内科医として心得るべきこと	下川 智樹	707(4)
〈近未来に向けて—冠動脈治療の将来〉		
低出力体外衝撃波治療	伊藤 健太・下川 宏明	713(4)
血管・心筋再生医療の展開	林 恵美子・細田 徹	718(4)

■ 内科医のための皮疹の診かたのロジック

〈座談会〉

内科医が診る皮膚疾患

北島 康雄・平山 陽示・藤田 芳郎・三橋善比古	778(5)
-------------------------	--------

〈Editorial〉

皮疹の診かたの基本的ロジック

北島 康雄	786(5)
-------	--------

〈皮疹の種類とその発症機序〉

丘疹	出光 俊郎	792(5)
紅斑	村田 哲	798(5)
膨疹	秀 道広	802(5)
紫斑	川上 民裕	808(5)
鱗屑, 角質肥厚	青山 裕美	814(5)
糜爛	山上 淳	820(5)
膿疱, 潰瘍	清島真理子	826(5)
色素沈着, 色素斑, 脱色素斑		

岡村 賢・鈴木 民夫	832(5)
------------	--------

皮膚硬化	市來 善郎	838(5)
------	-------	--------

皮膚掻痒	高森 建二	842(5)
------	-------	--------

〈内科疾患と皮疹〉

糖尿病と皮疹	三橋善比古	850(5)
肝臓疾患と皮疹	村田 哲	856(5)
薬疹	松倉 節子・相原 道子	859(5)
膠原病と皮疹—エリテマトーデスと全身性強皮症		

古川 福実・池田 高治	864(5)
-------------	--------

自己炎症症候群と皮疹

若林正一郎・神戸 直智	871(5)
-------------	--------

悪性腫瘍と皮疹	三橋善比古	876(5)
---------	-------	--------

透析患者の皮疹	高森 建二	880(5)
---------	-------	--------

〈内科医が診る皮膚疾患：診断・治療とコンサルテーション〉

虫刺症	夏秋	優	886(5)
白癬, 水虫	清	佳浩	891(5)
脂漏性皮膚炎, 接触性皮膚炎	中島	喜美子	894(5)
褥瘡	高河	慎介	898(5)
乳児湿疹, おむつかぶれ	馬場	直子	906(5)
伝染性膿痂疹(とびひ)	峯	嘉子	911(5)
尋常性疣贅(いぼ), 伝染性軟属腫(水いぼ)			
	三石	剛	914(5)
鶏眼(うおのめ), 胼胝(たこ)	須賀	康	918(5)
老人性乾皮症	山本 明美・井川	哲子	922(5)
アトピー性皮膚炎	佐伯	秀久	926(5)

■ 炎症性腸疾患攻略の手引き—これだけは知ってみたい!

〈座談会〉

増え続ける炎症性腸疾患患者に内科医はどう対応すべきか? 仲瀬 裕志・久松 理一・松田耕一郎・小坂 正

984(6)

〈ここまでわかってきた炎症性腸疾患の疫学と病態—今後の課題は？〉

炎症性腸疾患の疫学

……大藤 さとこ・福島 若葉・廣田 良夫 994(6)

炎症性腸疾患関連遺伝子

……梅野 淳嗣・浅野 光一・松本 主之 998(6)

潰瘍性大腸炎と Crohn 病は何がどう違うのか(1)—免疫学的違いは？……………小林 拓 1004(6)

潰瘍性大腸炎と Crohn 病は何がどう違うのか(2)—病理学的違いは？……………田中 正則 1008(6)

〈炎症性腸疾患の診断は、どこまで進歩してきたか？〉

炎症性腸疾患をどのような患者で疑うか？

……上田 渉・大庭 宏子・大川 清孝 1016(6)

炎症性腸疾患と鑑別すべき腸管感染症とは？

……上田 渉・青木 哲哉・大川 清孝 1020(6)

【必要な検査—正確な診断のために何をどう行うか？】

炎症性腸疾患診断における画像検査のアルゴリズム

……渡辺 憲治・鎌田 紀子・山上 博一 1024(6)

X 線(造影)検査—忘れてはならないポイントとは

……………平井 郁仁 1030(6)

大腸内視鏡検査—ポイントはここだ！

……遠藤 豊・吉田 篤史・上野 文昭 1035(6)

小腸内視鏡検査—どこまでわかるのか？

……江崎 幹宏・森山 智彦・松本 主之 1038(6)

CT/MRI/超音波検査を使いこなす！

……竹内 健・新井 典岳・鈴木 康夫 1042(6)

〈炎症性腸疾患の治療—いままでの治療・これからの治療 各種薬剤をどのように使用していくのか？〉

炎症性腸疾患の治療指針—ガイドラインに基づいた治療法……………横山 薫 1048(6)

【薬物療法】

5-ASA 製剤—基本薬剤の使い方に熟知する

……………樋田 信幸・中村 志郎 1054(6)

ステロイド剤—expert の使い方を知るべし！

……………猿田 雅之 1058(6)

血球成分吸着療法—開始のタイミングっていつ？

……福知 工・生方 聡史・嶋津 啓二 1062(6)

免疫調節薬—うまく使用するためのコツとは

……松浦 稔・吉野 琢哉・仲瀬 裕志 1067(6)

タクロリムス—外来でも使用可能か？

……………松岡 克善・金井 隆典 1072(6)

生物学的製剤—使用法のコツ、知っておくべき副作用とは？

……田中 浩紀・宮川 麻希・本谷 聡 1076(6)

栄養療法—いまこそ見直されるべき治療法！

……馬場 重樹・辻川 知之・安藤 朗 1080(6)

抗菌薬—いつどのような疾患に投与を考える？

……水島 恒和・山本 浩文・森 正樹 1084(6)

【外科治療】

肛門部病変の診察と治療—視診、触診は重要！

……藤川 裕之・太田章比古・楠 正人 1088(6)

炎症性腸疾患における外科治療—外科へのコンサルトはこのタイミングで

……内野 基・松岡 宏樹・池内 浩基 1092(6)

〈炎症性腸疾患治療における special situation〉

知っておくべき腸管合併症—診断と治療のポイントはこれだ！……………谷田 論史・城 卓志 1096(6)

感染症を合併した炎症性腸疾患の治療—CMV や C. difficile 感染をどう治療する？

……………長堀 正和 1100(6)

内視鏡的拡張術—ここまでできる内視鏡治療！

……………永山 学・矢野 智則 1105(6)

炎症性腸疾患における発癌—どんな患者をどうフォローする？……………篠崎 大 1110(6)

炎症性腸疾患患者の妊娠・出産—ここがポイント！

知っておくべき薬物治療のコツ

……高 蓮浩・国崎 玲子・前田 慎 1114(6)

小児炎症性腸疾患の診察・治療—小児科⇄内科のコラボが大事……………余田 篤 1118(6)

高齢者炎症性腸疾患—難治例の治療は？ ステロイドは使っているの？……………山本 修司 1122(6)

専門医へのコンサルト—コンサルトは躊躇しないで！……………加藤 順 1126(6)

■神経診察—そのポイントと次の一手

〈座談会〉

内科医が行う神経診察—“苦手”を攻略するコツと考え方……………山脇 正永・高橋 慎一・塩尻 俊明・川越 正平 1182(7)

〈総論〉

神経診察の流れとポイント……………山脇 正永 1190(7)

病歴聴取のポイント……………水澤 英洋 1194(7)

家族歴と遺伝相談

……………桑名 仁・吉田 雅幸 1198(7)

全身診察法……………高橋 慎一 1202(7)

救急場面の神経診察

……………入江 仁・太田 凡 1206(7)

高齢者の神経診察……………金子 英司 1210(7)

〈各論〉

【高次脳機能】

意識障害とせん妄—意識のない患者からどう情報を得るか？ 注目すべき病歴、症候、バイタルサインは？

……………道勇 学 1214(7)

認知症状—本当に認知症か、その原因疾患は？

……………高橋 良一・山田 正仁 1218(7)

失語・失認・失行—診察の進め方と留意点

……………市川 忠 1222(7)

【脳神経系】

視覚症状—視野異常、眼球運動障害・複視の診かた

……………近藤 正樹・水野 敏樹 1228(7)

めまい、ふらつきの診かた……荻田 典生 1232(7)
摂食・嚥下障害、構音障害—診察の進め方とスクリーニング、検査……巨島 文子 1238(7)

【運動系】

筋力低下・麻痺—反射も含めて
……滋賀 健介 1242(7)
筋萎縮—特徴的な所見と検査
……山下 博史・高橋 良輔 1248(7)
不随意運動—部位とパターンをどう診るか
……能勢裕里江・横田 隆徳 1254(7)
運動失調症候の診かた……水澤 英洋 1260(7)
Parkinson 症状—症状のパターンと鑑別のポイント
……棚橋 貴夫・望月 秀樹 1266(7)

【起立・歩行】

起立・歩行障害—注目すべき歩き方・姿勢とその原因
……井上 聖啓 1270(7)

【感覚系】

感覚障害—しびれ、感覚低下などの診かた
……鈴木 秀和・楠 進 1274(7)

【自律神経系】

血圧調節障害—低血圧を伴う疾患とその鑑別
……清水 文崇・神田 隆 1278(7)
排尿障害—診察の進め方と評価
……水流 輝彦・荒木 勇雄・河内 明宏 1282(7)
便秘・排便障害—その病態と診断
……鎌田 和浩・伊藤 義人 1286(7)

【その他】

失神—てんかんとどう見分ける？ 原因疾患は？
……桑原 聡 1290(7)
てんかん—てんかんであることをどう見極める？ 鑑別は？……稲次 基希・前原 健寿 1294(7)
頭痛—神経診察が特に役立つ頭痛とその症候の診かた
……塩尻 俊明 1300(7)
栄養障害の診かたと栄養管理……清水 俊夫 1304(7)
廃用症候群—臨床医に必要な知識とは？
……川上 途行・里宇 明元 1308(7)

■糖尿病患者を診る—治療と兼科のポイント

〈座談会〉

糖尿病医と各科医の院内連携を考える！
……弘世 貴久・林 道夫・
正井 博文・池原 孝 1374(8)

〈糖尿病診療の基本〉

糖尿病診療のオーバービュー—この5年間で糖尿病の診断と治療はどう変わったか
……鈴木 亮 1384(8)
食品交換表を用いた食事療法……福井 道明 1388(8)
糖尿病の運動療法……田村 好史 1393(8)
薬物療法(内服薬)……上野 浩晶 1400(8)
注射薬療法……熊代 尚記・弘世 貴久 1406(8)

〈併存疾患からみた治療と兼科のポイント〉

【循環器疾患】

循環器介入治療前後のコントロール
……田蒔 基行 1412(8)
循環器薬と糖尿病
……中島 健一・三田 智也 1417(8)

【呼吸器疾患】

呼吸器疾患に合併する糖尿病の管理
……有光 絢・紅林 昌吾 1423(8)

【消化器疾患】

消化管周術期の注意点……西澤 誠 1428(8)
肝と糖尿病—肝疾患時の注意点
……永井 義夫・田中 逸 1434(8)

【悪性腫瘍】

悪性腫瘍の経過にみられる高血糖とその管理
……豊島 秀男 1438(8)

【内分泌疾患】

内分泌糖尿病の管理—カウンターホルモンとどう対峙するか？……笠山 宗正 1442(8)

【代謝疾患】

さまざまな代謝疾患にみられる糖尿病のマネジメント
……片上 直人 1448(8)

【男性学・女性学】

性ホルモン、性腺疾患と糖尿病
……田邊真紀人・野見山 崇・柳瀬 敏彦 1456(8)

【女性学】

新しい妊娠糖尿病基準とその管理
……福本まりこ・細井 雅之 1462(8)

【アレルギー・膠原病疾患】

ステロイド糖尿病のマネジメント
……竹内 淳 1466(8)

【感染症】

糖尿病と感染症の深い関係
……中辻 文彦・寺前 純吾 1471(8)

【精神疾患】

向精神薬の血糖コントロールへの影響
……飯嶋 寿江・麻生 好正 1476(8)

【腎疾患】

腎疾患と糖尿病—CKD と新しい糖尿病性腎症病期分類が狙うもの……守屋 達美・松原まどか 1482(8)

【皮膚疾患】

糖尿病でみられる合併症としての皮膚疾患
……北嘉真理子・畑 康樹 1490(8)

【整形外科疾患】

整形外科の緊急手術で血糖高値が発覚！
どうするか？……内野 泰・弘世 貴久 1496(8)

〈糖尿病診療に関する最近のトピックス〉

新しい治療標的グルカゴン
……後藤 孔郎・柴田 洋孝 1502(8)
SGLT2 阻害薬、GPR40 作動薬の現況

……………岩本 正博・石田 俊彦 1506(8)
 現在および将来のインスリン製剤
 ……………金藤 秀明 1512(8)
 糖質制限食をどう捉える?…………山田 悟 1516(8)
 低血糖と向き合う
 ……………大野 晴也・中西 修平 1520(8)

■ここが知りたい循環器診療—パールとピットフォール

〈座談会〉

循環器疾患への苦手意識をどのように克服するか?
 ……………前村 浩二・中川 義久・
 香坂 俊・有田 卓人 1588(9)
 〈よくみる症候からのアプローチ—問診, 診察のコツ
 と検査の進め方〉
 循環器系身体診察法のポイント
 ……………室生 卓 1598(9)
 胸痛を訴える患者の診かた
 ……野村 章洋・川尻 剛照・山岸 正和 1602(9)
 動悸を訴える患者の診かた…………清水 昭彦 1608(9)
 息切れ, 呼吸困難を訴える患者の診かた
 ……………黒木 茂広 1611(9)
 失神患者の診かた
 ……………河野 律子・安部 治彦 1614(9)
 〈知っておきたい検査のポイント〉
 健康診断でみつかる心電図所見
 ……………高橋 尚彦 1620(9)
 知っているのと得する虚血の心電図所見
 ……………小菅 雅美 1624(9)
 血液バイオマーカーを使いこなす
 ……………佐藤 幸人 1630(9)
 一般内科医が知っておくべき心エコー所見—救急外来
 で見るべきポイント…………藤本 真一 1634(9)
 循環器領域の放射線画像診断のピットフォール
 ……………末吉 英純 1639(9)
 〈救急でよくみる循環器疾患〉
 急性冠症候群を見逃さないために
 ……………前村 浩二 1644(9)
 急性心筋梗塞の初期診療
 ……………柳澤 智義・阿古 潤哉 1649(9)
 急性大動脈解離の初期診療…………桃原 哲也 1658(9)
 発作性心房細動への対応
 ……………渡部 智紀・今井 靖 1662(9)
 発作性上室性頻拍症への対応…………藤生 克仁 1670(9)
 心室頻拍への対応…………池田 隆徳 1674(9)
 病態から考える急性心不全の治療
 ……………石原 嗣郎・佐藤 直樹 1678(9)
 急性肺血栓塞栓症を見逃さない
 ……池田 聡司・中田 智夫・古賀 聖士 1681(9)
 高血圧緊急症—どのような場合にどこまで降圧すべき

か…………藤島慎一郎・土橋 卓也 1686(9)
 〈一般外来でよくみる循環器疾患〉

【虚血性心疾患】

安定狭心症患者へのアプローチ
 ……………岩永 善高・宮崎 俊一 1690(9)
 抗血小板薬の使い方
 ……………石川 秀一・上妻 謙 1698(9)
 冠動脈疾患の二次予防…………東條美奈子 1702(9)

【不整脈】

期外収縮が頻発する患者の診かた
 ……………鈴木 敦・志賀 剛 1706(9)
 徐脈の患者の診かた
 ……荒川 修司・深江 学芸・前村 浩二 1712(9)
 心房細動のリズム・レートコントロール
 ……………大塚 崇之・山下 武志 1716(9)
 心房細動の抗凝固療法
 ……………上島 彩子・草野 研吾 1723(9)

【心不全】

心不全患者への生活指導・リハビリテーション
 ……………塚田(哲翁)弥生 1728(9)
 慢性心不全の薬物療法(1)—利尿薬の使い方
 ……………猪又 孝元 1732(9)
 慢性心不全の薬物療法(2)—RA系抑制薬と β 遮断薬
 の使い方…………筒井 裕之 1736(9)

■呼吸器薬の標準的使い方

〈座談会〉

気管支喘息とCOPD—どう薬剤を使い分けるか
 ……………蝶名林直彦・大田 健・
 桂 秀樹・村松 弘康 1800(10)

〈気管支喘息〉

【増悪期の治療】

発作時の対応…………堀江 健夫 1810(10)

【安定期の治療】

吸入ステロイド薬の使い方…………駒瀬 裕子 1816(10)
 吸入ステロイド薬以外の使い方—ロイコトリエン受容
 体拮抗薬, テオフィリン, 抗コリン薬など
 ……………山本 義孝・黨 康夫 1822(10)
 オマリズマブの選択対象と使い方
 ……………木原 令夫 1826(10)

〈COPD〉

薬剤選択のためのガイドラインの現況
 ……………桑平 一郎 1832(10)

【安定期の治療】

抗コリン薬の使い方
 ……………多賀谷悦子・玉置 淳 1836(10)
 β_2 刺激薬の使い方…………佐藤 匡 1840(10)
 吸入ステロイド薬の使い方…………猪又 崇志 1844(10)
 吸入薬以外の治療—テオフィリン, 喀痰調整薬, マク
 ロライド系抗菌薬, 栄養療法

……山本 佳史・吉川 雅則・木村 弘	1850(10)
【増悪期の治療】	
増悪期の治療	
……小島 淳・中山 勝敏・桑野 和善	1854(10)
〈呼吸器感染症〉	
インフルエンザに対する投薬	
……吉田 舞子・藤田 次郎	1859(10)
【肺炎】	
市中肺炎……石田 直	1862(10)
院内肺炎—ニューモシスチス肺炎, サイトメガロウイルス肺炎を中心に	
……森岡慎一郎・倉井 華子・大曲 貴夫	1866(10)
誤嚥性肺炎……山岸 亨・松瀬 厚人	1869(10)
膿胸	
……笠井 昭吾・大河内康実・徳田 均	1874(10)
肺結核症および非結核性抗酸菌症	
……倉島 篤行	1879(10)
慢性気道感染症……吉村 邦彦	1884(10)
〈肺癌〉	
病院で行う化学療法と外来化学療法	
……西村 直樹	1888(10)
開業医との病診連携による化学療法	
……久保田 馨	1892(10)
〈間質性肺疾患〉	
特発性間質性肺炎(IIPs)の分類とステロイドの効果	
……坂本 晋・本間 栄	1895(10)
特発性肺線維症(IPF)におけるピルフェニドンの使用方法と適応	
……三浦由記子・斎藤 武文・吾妻安良太	1899(10)
膠原病肺……土師陽一郎・岸本 暢将	1904(10)
過敏性肺炎……宮崎 泰成	1908(10)
〈その他の呼吸器疾患〉	
急性呼吸窮迫症候群(ARDS)	
……富貴原 淳・長谷川隆一	1914(10)
サルコイドーシス……山口 哲生	1918(10)
好酸球性肺炎……菅 守隆	1922(10)
リンパ脈管筋腫症	
……瀬山 邦明・安藤 克利・江花 弘基	1926(10)
〈トピックス〉	
肺高血圧症	
……須田 理香・田邊 信宏・巽 浩一郎	1930(10)
生物学的製剤……仁多 寅彦	1934(10)
■ 関節リウマチ・膠原病—症例で学ぶ診断と治療	
〈座談会〉	
リウマチ・膠原病をどう診ていくか	
……金城 光代・岸本 暢将・	
星 哲哉・松村 真司	2008(12)
〈関節リウマチ・膠原病を疑う時のアプローチ〉	
関節炎からのリウマチ病の鑑別……上野 征夫	2016(12)

呼吸器・肺所見から考える膠原病	
……皿谷 健	2020(12)
皮膚所見から考える膠原病……衛藤 光	2026(12)
神経障害から考える膠原病	
……坂上沙央里・萩野 昇	2031(12)
血液・尿所見から考える膠原病	
……中西 研輔・金城 光代	2040(12)
膠原病を疑う時の検査……宇都宮雅子	2046(12)
〈関節リウマチの診断・治療〉	
関節リウマチの診断・検査……横川 直人	2052(12)
単純 X 線の評価—鑑別のための手単純 X 線読影	
……上地 英司	2060(12)
関節リウマチ疾患活動性のモニタリング	
……土師陽一郎	2067(12)
関節リウマチのスタンダード治療	
……野村 篤史	2072(12)
スタンダード治療が適さない関節リウマチ治療	
……日高 利彦	2077(12)
〈リウマチ, 膠原病と鑑別すべき疾患〉	
結晶性関節炎……星 哲哉	2086(12)
化膿性関節炎……織田鎌太郎・本郷 偉元	2093(12)
ウイルス性関節炎	
……押川 英仁・松井 和生	2102(12)
糖尿病, 内分泌疾患と筋・関節症状	
……岸本 暢将	2108(12)
〈膠原病の診断・治療〉	
全身性エリテマトーデス……岡田 正人	2113(12)
Sjögren 症候群……澤木 俊興・横川 直人	2119(12)
若年性特発性関節炎……山口 賢一	2124(12)
巨細胞性動脈炎, リウマチ性多発筋痛症	
……金城 光代	2129(12)
多発性筋炎, 皮膚筋炎	
……綿貫 聡・横川 直人	2135(12)
成人 Still 病……岩波 慶一	2141(12)
Behçet 病……小林 達雄・松井 和生	2148(12)
脊椎関節炎……関 治先・岸本 暢将	2152(12)
全身性強皮症……井畑 淳	2157(12)
ANCA 関連血管炎……赤井 靖宏	2165(12)
高安動脈炎(大動脈炎症候群), 結節性多発動脈炎	
……松井 和生	2174(12)
膠原病緊急症……田巻 弘道	2180(12)
〈膠原病関連症状に対する対症療法〉	
膠原病疾患と精神症状の治療……山田 宇以	2184(12)
膠原病疾患と漢方薬治療……津田篤太郎	2188(12)

■ 最新情報をおさえる！—臨床栄養の活用ガイド	
〈座談会〉	
栄養に関する新しい情報をどう臨床に活かすか	
……丹藤 雄介・遠藤 龍人・	
五十嵐久人・長谷川範之	2248(13)

〈おさえておこう！栄養に関する新しい用語や新しい考え方〉

栄養ケアステーション……………齋藤 長徳	2256(13)
リハビリテーション栄養……………若林 秀隆	2260(13)
サルコペニア	
……柳町 幸・丹藤 雄介・中村 光男	2264(13)
immunonutrition(免疫栄養法)	
……好川 謙一・穂苅 量太・三浦総一郎	2270(13)
サプリメント……………小内 亨	2276(13)
ビタミンの役割……………小山 勝志	2281(13)
微量元素の留意点……………清水 亮	2286(13)
enhanced recovery after surgery(ERAS)	
……鈴木 大亮・古川 勝規・宮崎 勝	2290(13)
refeeding syndrome……………古屋 智規	2296(13)
栄養性貧血……………木村 朋文・張替 秀郎	2302(13)
〈さまざまな病態における栄養のポイント〉	
肥満症の栄養管理……………齋木 厚人	2306(13)
糖尿病と栄養—特に糖質制限食, 蛋白制限食について	
……………友常 健	2311(13)
脂質異常症と栄養……………松井 淳	2316(13)
高尿酸血症・痛風治療—栄養療法と薬物療法	
……………鬼澤 信之・安西 尚彦	2320(13)
腎疾患の栄養管理……………古宮 俊幸	2324(13)
膝疾患の栄養管理	
……五十嵐久人・脇岡 正之・伊藤 鉄英	2330(13)
炎症性腸疾患の栄養治療	
……稲富 理・佐々木雅也・安藤 朗	2334(13)
骨粗鬆症と栄養……………竹内 靖博	2338(13)
COPDにおける栄養障害と対策	
……福岡 篤彦・吉川 雅則・木村 弘	2341(13)
肝不全と栄養管理	
……遠藤 龍人・鴻巣 正史・滝川 康裕	2346(13)
救急・集中治療領域における栄養管理	
……………佐藤 武揚	2350(13)
がん患者の栄養療法	
……伊藤 彰博・東口 高志・森 直治	2354(13)
〈医療連携や療養, 在宅医療における栄養のキーワード〉	
NST(nutrition support team)……………成田 琢磨	2360(13)
栄養に関して歯科と連携すべきこと—特に口腔ケアについて	
……古枝 和也・山崎総一郎・杉山 芳樹	2366(13)
療養病床における栄養管理—特に低蛋白血症について	
……………長谷川範之・丹藤 雄介	2372(13)
PEGの造設とその管理……………倉 敏郎	2376(13)
在宅医療における経口/経腸栄養剤の使い方	
……………市橋 亮一	2381(13)
高齢者の誤嚥性肺炎と栄養	
……………宮城島 慶・須藤 紀子	2386(13)
認知症患者の栄養管理の考え方	
……………鈴木 裕	2392(13)

【顔を見て気づく内科疾患】

側頭部の索状硬結：側頭動脈炎	
……………石丸 裕康	1(1)
接触性皮膚炎—膠原病の皮疹との区別が必要	
……………石丸 裕康	189(2)
耳のしわ：虚血性心疾患のサイン？	
……………石丸 裕康	387(3)
皮膚腫瘍の多発：von Recklinghausen 病	
……………石丸 裕康	565(4)
「熱の花」：口唇ヘルペス……………石丸 裕康	769(5)
red eye 3 症例……………石丸 裕康	975(6)

【そのカルテ, 大丈夫ですか？誤解を避ける記載術】

イントロダクション 事実を正しく記載する	
……………神田知江美	3(1)
「時間を意識する」① 時間の重要性	
……………神田知江美	191(2)
「時間を意識する」② 検査と時間	
……………神田知江美	389(3)
「訂正は慎重に」① 医療機器の時刻と訂正	
……………神田知江美	567(4)
「訂正は慎重に」② 加筆と改ざんは紙一重	
……………神田知江美	771(5)
「種類の異なる事実を書き分ける」① 複数解釈可能な記載……………神田知江美	977(6)
「種類の異なる事実を書き分ける」② 病理や読影レポートについて……………神田知江美	1175(7)
アセスメントについて	
医師間での判断を統一する……………神田知江美	1367(8)
過失について	
判断の理由を記載する……………神田知江美	1581(9)
「説明義務」① 診断書作成は慎重に	
……………神田知江美	1793(10)
「説明義務」② インフォームドコンセント	
……………神田知江美	2001(12)
裁判はこわくない……………神田知江美	2241(13)

【目でみるトレーニング】

問題	718	……………三好 満	150(1)
	719	……………渡辺 恭孝	151(1)
	720	……………鳥居 孝子	152(1)
	721	……………見坂 恒明	362(2)
	722	……………西 和男	363(2)
	723	……………矢島 隆二・西澤 正豊	364(2)
	724	……………三好 満	536(3)
	725	……………稲葉 芳絵	537(3)
	726	……………寺門 洋平・今村 哲理	538(3)
	727	……………角谷 彰子・尾上 祐行	742(4)
	728	……………赤堀 弘	743(4)
	729	……………矢島 隆二・西澤 正豊	744(4)

730	板本智恵子	936(5)
731	井上 賀元	937(5)
732	稲葉 芳絵	938(5)
733	阿久澤暢洋	1136(6)
734	水野 元夫	1137(6)
735	富樫 尚彦・尾上 祐行	1138(6)
736	伊崎 祥子・野村 恭一	1320(7)
737	涌井 広道	1321(7)
738	笠松 悠	1322(7)
739	阿久澤暢洋	1550(8)
740	井上 賀元	1551(8)
741	水野 元夫	1552(8)
742	青野 豪	1758(9)
743	笠松 悠	1759(9)
744	伊崎 祥子・野村 恭一	1760(9)
745	大西佐知子	1954(10)
746	吉田 理	1955(10)
747	梶原 祐策	1956(10)
748	阿久澤暢洋	2220(12)
749	甲斐 基一	2221(12)
750	大串 昭彦・杉岡 隆	2222(12)
751	伊崎 祥子・野村 恭一	2430(13)
752	尾崎 青芽	2431(13)
753	吉田 理	2432(13)

【皮膚科×アレルギー膠原病科 合同カンファレンス】

膠原病を疑われた不明熱	岡田 正人・衛藤 光	156(1)
新生児の環状紅斑	岡田 正人・衛藤 光	355(2)
ステロイドの効かない関節炎	岡田 正人・衛藤 光	530(3)

【神経診察の思考プロセス 一般内科外来のカルテから】

顔面麻痺	大生 定義	162(1)
てんかん発作とされていた2事例	大生 定義	340(2)
数カ月の経過でADLが落ちてきた片麻痺の男性	大生 定義	526(3)

【西方見聞録】

人と世界の多様性を知りたくて	山口 典宏	166(1)
初めての朝帰り	山口 典宏	360(2)
ネズミとマウスと研究と	山口 典宏	548(3)
BMWに乗って	山口 典宏	748(4)
五線譜も科学も同じこと	山口 典宏	958(5)
医師の演じ方	山口 典宏	1152(6)

終わらず、ただ始まる	山口 典宏	1318(7)
Fairness とは何か?	山口 典宏	1548(8)
病院の住人=レジデント, 病院人=?	山口 典宏	1774(9)
外来と救急のあいだ	山口 典宏	1968(10)
ミキュー, シキュー, 何それ???	山口 典宏	2218(12)
人の死と東西	山口 典宏	2436(13)

【Step up 腹痛診察】

50歳男性, 心窩部痛	小林 健二	168(1)
28歳女性, 間欠的な下腹部痛と下痢	小林 健二	343(2)
49歳男性, 心窩部痛	小林 健二	542(3)
34歳男性, 心窩部痛	小林 健二	750(4)
48歳男性, 右下腹部痛	小林 健二	954(5)
22歳男性, 右下腹部痛, 血便	小林 健二	1142(6)
33歳女性, 下腹部痛	酒見 智子・小林 健二	1342(7)
72歳, 女性, 心窩部痛, 背部痛	小林 健二	1536(8)
45歳男性, 心窩部痛	小林 健二	1752(9)
56歳男性, 左側腹部痛	小林 健二	1970(10)
67歳, 女性, 下腹部痛, 腹部膨満感	小林 健二	2214(12)
65歳男性, 心窩部痛	小林 健二	2426(13)

【患者さんは人生の先生】

自分で決める人生の終え方	出雲 博子	173(1)
東海道を歩いて糖尿病治療	出雲 博子	369(2)
笑うと嬉しくなる	出雲 博子	535(3)
“認知症のレッテル”を貼る前に	出雲 博子	727(4)
真の責任感	出雲 博子	953(5)
誠意は通ず	出雲 博子	1135(6)
病気への姿勢はその人を語る	出雲 博子	1335(7)
処方した薬と服用した薬	出雲 博子	1541(8)
食事指導は腕のみせどころ	出雲 博子	1751(9)
過剰なストレスは病気のもと	出雲 博子	1953(10)
“治療”が“善”とは限らない	出雲 博子	2229(12)
幸せの星の数を数える	出雲 博子	2403(13)

【REVIEW & PREVIEW】

成人先天性心疾患	丹羽公一郎	174(1)
心臓移植治療の現在	遠山 周吾・香坂 俊	370(2)
<i>Helicobacter pylori</i> と胃癌	田中 昭文・徳永 健吾・高橋 信一	550(3)
鉄過剰の弊害と対策	川端 浩	754(4)
Acute Kidney Injury とは何か? 一病態と治療		

.....瀧	康洋・河原崎宏雄	960(5)
大災害と心血管病		
.....高橋	潤・下川 宏明	1159(6)
「Choosing Wisely」とは何か.....徳田 安春 1352(7)		
糸球体性蛋白尿の発症機序		
.....河内	裕・福住 好恭	1567(8)
B型肝炎に対する抗ウイルス療法		
.....池田	裕喜・奥瀬 千晃・四柳 宏	1777(9)
胎内環境と慢性疾患		
.....佐藤	有紀・柳田 素子	1984(10)
<i>Clostridium difficile</i> 感染症.....柳 秀高 2226(12)		
強皮症の病態と最新治療.....桑名 正隆 2409(13)		

【依頼理由別に考える心臓超音波検査 とりあえずエコーの一步先へ】

依頼理由 {その8} “心嚢液貯留を指摘されました。 息切れ増悪も認めています”		
～心膜炎ですか、心タンポナーデですか～		
.....鶴田	ひかる・香坂 俊	348(2)
依頼理由 {その9} 心電図異常～心エコーで見るべき こと～.....鶴田ひかる・香坂 俊 734(4)		
依頼理由 {その10} 発熱、不明熱～感染性心内膜炎 の可能性はありますか～		
.....鶴田	ひかる・香坂 俊	1326(7)
依頼理由 {その11} 忘れられた部屋、右室の機能評 価.....鶴田ひかる・香坂 俊 1960(10)		

【魁!! 診断塾】

オッカムか、ヒッカムか!? の巻		
.....佐田	竜一・綿貫 聡・	
志水	太郎・石金 正裕・	
忽那	賢志・上村 悠	728(4)
真実は骨盤のなかに...!? の巻		
.....佐田	竜一・綿貫 聡・	
志水	太郎・石金 正裕・忽那 賢志	946(5)
西伊豆の endemic disease!? の巻		
.....佐田	竜一・綿貫 聡・	
志水	太郎・石金 正裕・忽那 賢志	1147(6)
震えよ、速やかに止まれ! の巻		
.....佐田	竜一・綿貫 聡・	
志水	太郎・石金 正裕・	
忽那	賢志・原田 拓	1336(7)
痛みの元を突き止めろ! の巻		
.....佐田	竜一・綿貫 聡・	
志水	太郎・石金 正裕・	
忽那	賢志・清水 剛治	1542(8)
万物は流転し、そして繰り返す! の巻		
.....佐田	竜一・綿貫 聡・	
志水	太郎・石金 正裕・	
忽那	賢志・萩野 昇	1746(9)

迷った時は己の足で稼げ! の巻		
.....佐田	竜一・綿貫 聡・	
志水	太郎・石金 正裕・忽那 賢志	1947(10)
思ったより高かった!? の巻		
.....佐田	竜一・綿貫 聡・	
志水	太郎・石金 正裕・忽那 賢志	2209(12)
bias の罠に注意せよ! の巻		
.....佐田	竜一・綿貫 聡・	
志水	太郎・石金 正裕・忽那 賢志	2414(13)

【失敗例から学ぶプレゼンテーション 患者説明から学会発表まで】

時間泥棒の汚名を着せられるープレゼンの戦略		
.....八幡	紘史・植田 育子・	
田中	雅美・竹本 文美	942(5)
睡眠不足解消のプレゼンー聴き手分析		
.....竹本	文美・植田 育子・	
田中	雅美・八幡紘史	1154(6)
患者と医者とのすれちがいー目的と目標分析		
.....竹本	文美・植田 育子・	
田中	雅美・八幡紘史	1346(7)
場所と環境は最大のリスクー場所・環境分析ー		
.....植田	育子・田中 雅美・	
竹本	文美・八幡紘史	1563(8)
話の組み立て方		
.....田中	雅美・植田 育子・	
竹本	文美・八幡紘史	1769(9)
3部構成のシナリオ		
.....植田	育子・田中 雅美・	
竹本	文美・八幡紘史	1977(10)
プレゼンのアウトライン		
.....植田	育子・田中 雅美・	
竹本	文美・八幡紘史	2204(12)
デリバリー技術		
.....田中	雅美・植田 育子・	
竹本	文美・八幡紘史	2404(13)

【研修医に贈る 小児を診る心得】

コミュニケーションの前提になるもの		
.....加藤	英治	1316(7)
聴くために必要なこと.....加藤 英治 1534(8)		
病歴聴取は最初の出会い.....加藤 英治 1756(9)		
子どもや家族から好かれるために		
.....加藤	英治	1982(10)
母親の話を聴く.....加藤 英治 2202(12)		
子どもを一番よく知っている人の話を聴く		
.....加藤	英治	2424(13)

【総合診療のプラクティス患者の声に耳を傾ける】
魅力的なキーワードに固執しない

……………見坂 恒明 1530(8)	
随伴症状がある時は多臓器疾患を考慮する	
……………見坂 恒明 1764(9)	
症状と曝露の時系列を考慮する	
……………見坂 恒明 1974(10)	
突然発症の痛みは診断が絞れ、かつ緊急を要する	
……………見坂 恒明 2199(12)	
症状を訴える部位の診察は必須である	
……………南 建輔・見坂 恒明 2420(13)	

【SCOPE】

薬剤誘発性顎骨骨髄炎の注意点と対処法	
……………首藤 敦史・岸本 裕充 1556(8)	

【CT・MRI“戦略的”活用ガイド(増刊号)】

■ 知っておきたいCT・MRIのキホン

CTのキホン……………八坂耕一郎 6(11)	
MRIのキホン	
……………石田 尚利・並木 洋子・渡辺 慎 17(11)	
代表的なMRIシーケンス	
……………入江 隆介・青木 茂樹 28(11)	
コンピューター断層撮影の医科点数と診療報酬	
……………井田 正博 40(11)	

■ 造影剤・プロトコル

造影剤の種類とその違い……………山川 貴菜 50(11)	
CT造影理論のエッセンス	
……………佐野 勝廣・市川 智章 56(11)	
実践！CT造影……………山本 晃大 64(11)	
腹部MRI造影—何を使い、どう読むか	
……………赤井 宏行 70(11)	

■ CT・MRI検査の注意事項

リスクマネジメント—事故やエラーを防ぐための心得	
……………森 壘 80(11)	
造影剤の安全性—造影剤腎症と腎性全身性線維症	
……………林 宏光 86(11)	
医療被曝とCT……………赤羽 正章 92(11)	
体内金属とMRI……………村中 博幸 97(11)	
MRIのアーチファクトと対処法	
……………桐生 茂 103(11)	

■ 症状別検査オーダーのポイント

頭部……………大場 洋 110(11)	
頸部……………尾尻 博也 122(11)	
甲状腺……………森 典子 136(11)	
乳腺……………大橋 茜・片岡 正子 142(11)	
胸部	

……………神山 久信・大野 良治・杉村 和朗 148(11)	
腹部	
……………森田孝一郎・西江 昭弘・本田 浩 163(11)	
骨盤部……………竹内麻由美・松崎 健司 178(11)	
整形領域……………小橋由紋子 190(11)	

■ 特殊検査とオーダーのポイント

脳動脈精査(CTAおよびMRA)	
……………内野 晃 210(11)	
脳の拡散強調画像と灌流強調画像	
……………吉田 篤司・藤間 憲幸・工藤 興亮 217(11)	
心臓CT・MRI……………倉田 聖 225(11)	
Adamkiewicz 動脈CT	
……………吉岡 邦浩・田中 良一 236(11)	
手術・処置支援のための3D-CT(1)—胸部—胸腔鏡下	
食道手術の術前simulationを例に	
……………森田 佳明・高瀬 圭 241(11)	
手術・処置支援のための3D-CT(2)—腹部	
……………壺井 匡浩・高瀬 圭 246(11)	
CT colonography	
……………森本 毅・中島 康雄・力石 耕介 252(11)	
CTガイド下生検(肺)……………菅野 重明 264(11)	
CTガイド下生検(腹部・骨軟部組織)	
……………佐々木弘喜 270(11)	

■ 状況別、CT・MRI利用のコツ

自施設の放射線科……………古賀 久雄 278(11)	
画像診断クリニック	
……………佐藤 史郎・中元 和也 286(11)	
検診……………吉川 健啓 292(11)	

■ 各科に直撃！よくある紹介疾患、

紹介前にあるといい検査、紹介後にする検査

循環器内科……………石田 純一 300(11)	
消化器内科……………菅原 通子・持田 智 304(11)	
呼吸器内科……………皿谷 健 312(11)	
神経内科……………石浦 浩之 319(11)	
外科……………野村 幸世 326(11)	
泌尿器科……………竹島 雄太 330(11)	
産婦人科……………吉野 修・齋藤 滋 336(11)	
整形外科……………森崎 裕 338(11)	
耳鼻咽喉科……………藤本 千里 342(11)	
精神科……………五十嵐 雅 346(11)	

■ 付録 画像診断レポート用語図説

頭部……………雨宮 史織 354(11)	
胸部……………渡谷 岳行 364(11)	
心大血管……………前田恵理子 372(11)	
腹部……………五ノ井 渉 384(11)	
骨盤部……………古田 寿宏 398(11)	

椎体.....	花岡 昇平	408(11)	索引.....	424(11)
四肢.....	三木聡一郎	416(11)		